

すすめよう！男女共同参画

問合せ先

役場企画課企画調整係
(内線212)

◆ジェンダー・ギャップ指数

ジェンダー・ギャップ指数は、各国の男女格差を測る指標で、経済、教育、政治、健康の4分野のデータを基に算出され、「0」が完全不平等、「1」が完全平等を意味します。世界経済フォーラムが発表した2018年の「The Global Gender Gap Report 2018」では、日本は総合では149カ国中110位でした（表1参照）。前年よりは4つランクを上げましたが、2006年の80位から大きく順位を落としています。個別分野別には経済(0.595、117位)、教育(0.994、65位)、健康(0.979、41位)、政治(0.081、125位)となっています。

政治の低さが目立ちますが、その理由は全国の3割の町村議会には、女性の議員がひとりもおらず、衆議院議員は10人中9人が男性であることなどです。

◆クォーター制

議員数の性差をなくすための制度としてクォーター制があります。

クォーター制は、女性議員を増やすため一定数を女性に割り当てる制度で、海外では100以上の国で採用されています。発祥地のノルウェーでは、2002年に大企業に対しても取締役の4割を女性とすることを法律で義務付け、成果を上げています。

音更町議会は2019年4月の選挙の結果、女性議員が20人中4人となり、政治面で女性活躍が進んでいると言え

そうです。また、各種審議会などでも女性委員の割合について目標を設定しています。

しかし、大切なのは制度によって形式を整えることではなく、SOGI（性的指向・性自認）に関わらず女性・男性ともに誰もが公平に参加できる共生社会を築くことです。それはSDGs（持続可能な開発目標）の目標である“誰一人取り残さない”社会でもあります。クォーター制はそうした社会への架橋となる制度ではないでしょうか。

表1 ジェンダー・ギャップ指数ランキング
(2018年)

順位	国名	スコア
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
5	ニカラグア	0.809
6	ルワンダ	0.804
7	ニュージーランド	0.801
8	フィリピン	0.799
9	アイルランド	0.796
10	ナミビア	0.789
...
110	日本	0.662